

一般項目	最大定格		端子間容量(pF)/容量比			備考	ピン接続図	
	項目	定格値	電圧(V)	最小	標準			最大
●MA333 松下 用途:無線機 VCO 用, VHF/UHF TV チューナ電子同調用 特長:直列抵抗 $r_d$ が小さく, 高 Q が得られる。低電圧動作で容量変可比が大きい。	$V_R$ (V)	9	2	13.5	15.5	直列抵抗 $r_d$ :0.35Ω(最大)  型名表示記号:6C		
	$I_F$ (mA)	100	3		3.5			4.5
	$T_j$ (°C)	125	6		3.5			4.5
			2.0/ 6.0		4.4			
●MA334 松下 用途:VHF/UHF 電子チューナ用 特長:容量変化比が大きい。 直列抵抗が小さい: $r_d=0.62\Omega$ (最大)	$V_R$ (V)	30	3	11.2		MA334B/Gがあり, それぞれ $V_R$ により一次, 二次ランクに分類されている。		
	$V_{RRM}$ (V)	34	10	4.4	2.5			2.5
	$I_F$ (mA)	20	25	2.0				2.5
	$T_j$ (°C)	125	3.0/25.0	4.6				6.2
●MA335 松下 用途:VHF 電子チューナ CATV 用 特長:容量変化比が大きい。 直列抵抗が小さい: $r_d=0.8\Omega$ (最大)	$V_R$ (V)	32	2	29.4		$\Delta C=3\%$ (最大)。 $V_R$ により, 一次, 二次ランクに分類されている。		
	$V_{RRM}$ (V)	34	10	8.5	3.2			3.2
	$I_F$ (mA)	20	25	2.6				3.2
	$T_j$ (°C)	125	2.0/25.0	10.0				
●MA338 松下 用途:CATV チューナ用 特長:容量変可比が大きい。直列抵抗 $r_d$ が小さく, 回路の性能指数 Q を高くできる。	$V_R$ (V)	34	2	27.0		容量偏差 $\Delta C$ :2.5%(最大)。 直列抵抗 $r_d$ :0.63Ω(最大) 型名表示記号:6H		
	$V_{RM}$ (V)	35	10	7.1	3.2			3.2
	$I_F$ (mA)	20	25	2.6				3.2
	$T_j$ (°C)	150	2.0/25.0	10.0				
●MA339 松下 用途:VHF/UHF 電子チューナ用 特長:容量変可比が大きい。直列抵抗 $r_d$ が小さい。	$V_R$ (V)	32	2	14.2		容量偏差 $\Delta C$ :2%(最大) 直列抵抗 $r_d$ :0.45Ω(最大) 型名表示記号:6N		
	$V_{RM}$ (V)	34	10	5.3	2.3			2.3
	$I_F$ (mA)	20	25	2.1				2.3
	$T_j$ (°C)	150	2.0/25.0	6.2				
●MA341 松下 用途:VHF/UHF 電子チューナ AFC 用 特長:容量変化比が大きい。 直列抵抗が小さい: $r_d=1.2\Omega$ (最大)	$V_R$ (V)	30	2	10.5				
	$V_{RRM}$ (V)	34	5		5.7			5.7
	$T_j$ (°C)	125	10	3.3				5.7
			2.0/10.0	2.8				3.4
●MA342 松下 用途:VHF/UHF チューナ AFC 用 特長:容量変化比が大きい。 直列抵抗が小さい: $r_d=1.2\Omega$ (最大)	$V_R$ (V)	32	2	10.5		カソード表示 MA342B MA342M 1st 青 青 2nd 緑 青		
	$V_{RRM}$ (V)	34	5		5.7			5.7
	$T_j$ (°C)	150	10	3.3				5.7
			2.0/10.0	2.8				3.4
●MA344 松下 用途:VHF/UHF 電子チューナ用 特長:容量変可比が大きい。直列抵抗 $r_d$ が小さい。 1パッケージに3素子内蔵(独立タイプ)。	$V_R$ (V)	30	3	11.2		容量偏差 $\Delta C$ :3%(最大) 直列抵抗 $r_d$ :0.75Ω(最大) 型名表示記号:5P		
	$V_{RM}$ (V)	34	10	4.4	2.4			2.4
	$I_F$ (mA)	20	25	2.0				2.4
	$T_j$ (°C)	150	3.0/25.0	4.6				6.2